

北九州市議会

議会報告会

議会報告会

開会挨拶

議会基本条例制定までの道のり

平成22年3月 議会基本条例検討会設置

約1年半にわたり、条例案を検討。
(検討会9回、小委員会27回)

議員61名全員一致のもと条例素案を作成後、
パブリックコメントの実施や市民説明会を開催。

議会基本条例案は、平成23年9月定例議会において、
全員賛成で可決、制定され、10月1日より、施行。

議会基本条例

北九州市議会においても市民との協働による開かれた議会の実現を目指し、市民への責任を果たすため、議会や議員の役割及び活動原則、議会と執行機関との関係及び議会と市民との関係等を明らかにし、市民の福祉の増進及び市勢の発展に寄与することを決意し、この条例を制定する。

(条例前文から抜粋)

議会基本条例第6条

(市長その他執行機関との関係)

第6条 二元代表制の下、議事機関である議会と市長その他の執行機関は、独立対等の立場で、適度な緊張関係と信頼関係を築き、相互の議論を深め、調整を行いながら、本市の意思決定を行う。

議会基本条例第14条

（議会報告会の開催）

第14条 議会は、必要に応じて議会報告会を開催し、市民への説明責任を果たすとともに、市民の意見を把握し、議会活動に反映させるものとする。

今任期中の議会報告会開催区

今後、各区を巡回します。

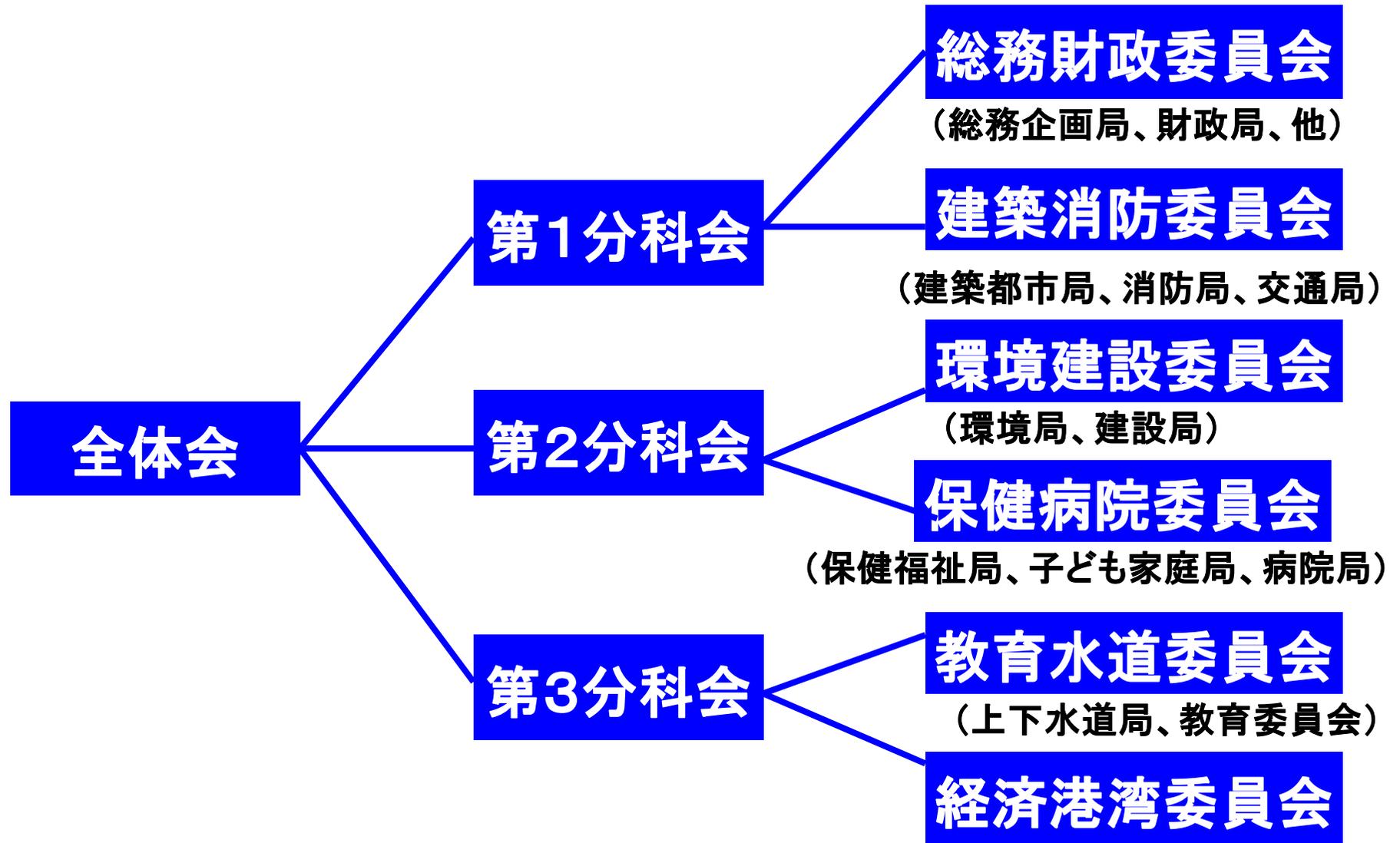
	平成23年 9月定例会	平成24年 2月定例会	平成24年 9月定例会
①	八幡西	八幡東	戸畑
②	小倉南	門司	小倉南
③	小倉北	若松	八幡西

平成24年度予算

概要及び審議結果報告

報告者：木村優一 議員

予算特別委員会の構成



※カッコ内は委員会の所管局となります

(産業経済局、港湾空港局、農業委員会)

北九州市

平成24年度予算の概要

平成24年度予算の規模

予算の規模

- 一般会計の予算額は、 5, 523億円（対前年度比 0. 9%増）
- 普通特別会計の予算額は、 5, 147億円（対前年度比 4. 8%増）
- 企業会計の予算額は、 1, 130億円（対前年度比 6. 0%減）

【全会計の予算規模】

（単位：百万円、%）

	平成24年度	平成23年度	差引（H24－H23）	
			金額	伸率
一般会計	552,286	547,454	4,832	0.9
普通特別会計	514,720	490,984	23,736	4.8
企業会計	113,045	120,262	▲7,217	▲6.0
合計	1,180,051	1,158,700	21,351	1.8

平成24年度 一般会計予算のフレーム

予算規模

5,523億円（前年度比48億円、0.9%増）

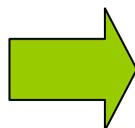
選択と集中を実施

経営改善の取り組みなどにより、約60億円の一般財源を捻出し、環境未来都市・国際戦略総合特区や市制50周年事業に重点配分するとともに、福祉・医療関係費の増へも対応。

削 減

- ◆収支改善等の取組み ▲57億円
 - ・特別会計剰余金の活用など
歳入の確保 ▲24億円
 - ・事務事業の見直し ▲16億円
 - ・人件費の削減 ▲17億円
(うち職員数の削減 ▲6億円)
- ◆道路・街路事業の減 ▲5億円

一般財源
約60億円
捻出



集 中

- ◆環境未来都市・国際戦略
総合特区 +22億円
- ◆市制50周年事業 +4億円
- ◆耐震改修や中心市街地
活性化関連公共事業の増
+12億円
- ◆福祉・医療関係費の増
への対応 +22億円

普通特別会計・企業会計の主な増減について

普通特別会計

● 国民健康保険特別会計 +26億円（24：1,204億円←23：1,178億円）

高齢化などの影響で保険給付費や後期高齢者支援金が増大するもの。

● 競輪、競艇特別会計 +97億円（24：1,091億円←23：994億円）

競艇事業において、規模の大きいG I 競走の開催に伴い増加するもの。

企業会計

● 病院事業会計 ▲50億円（24：269億円←23：319億円）

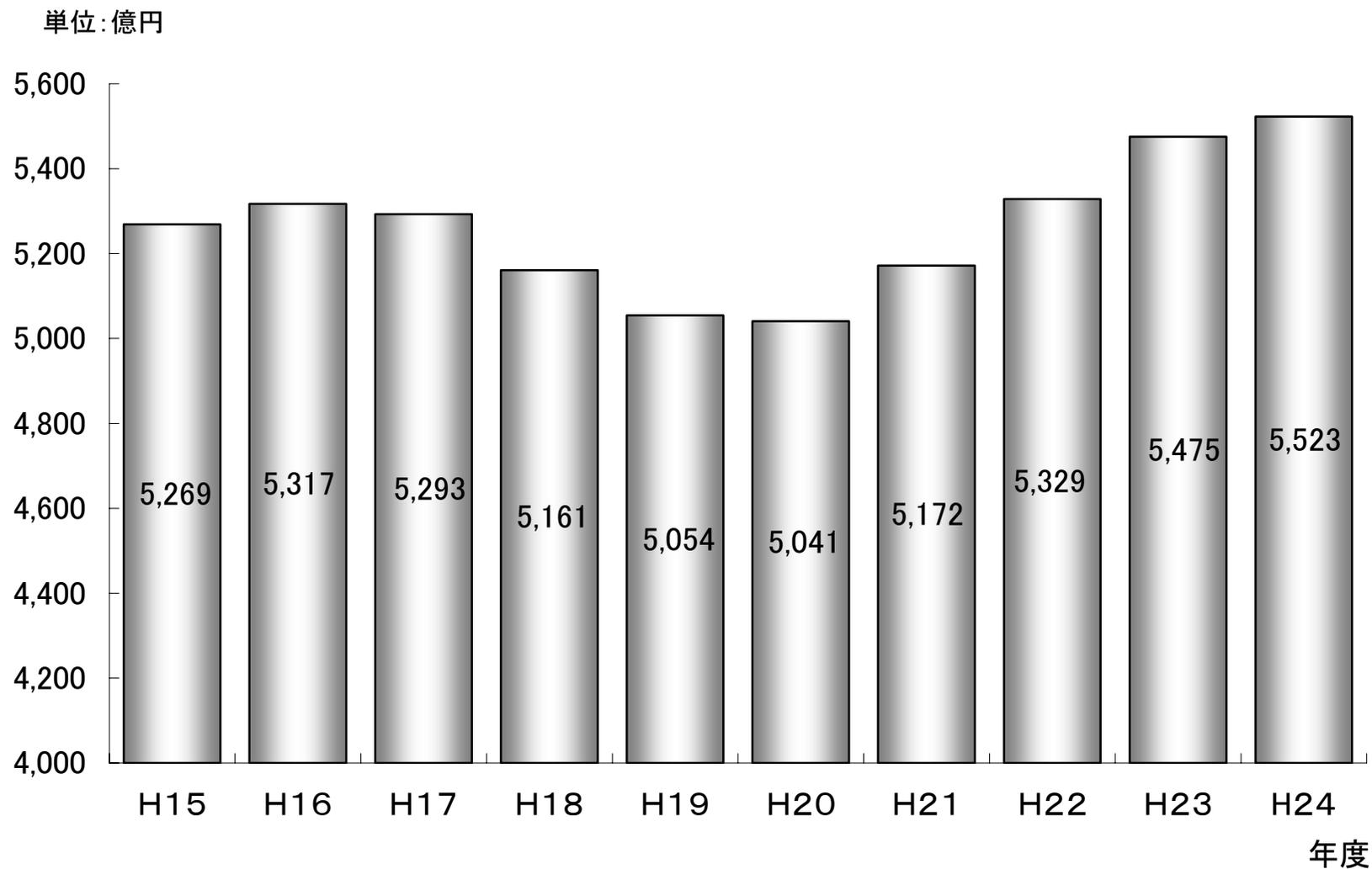
若松病院の民間譲渡に伴う企業債の繰上償還や関連費用が減少すること等によるもの。

● 下水道事業会計 ▲25億円（24：498億円←23：523億円）

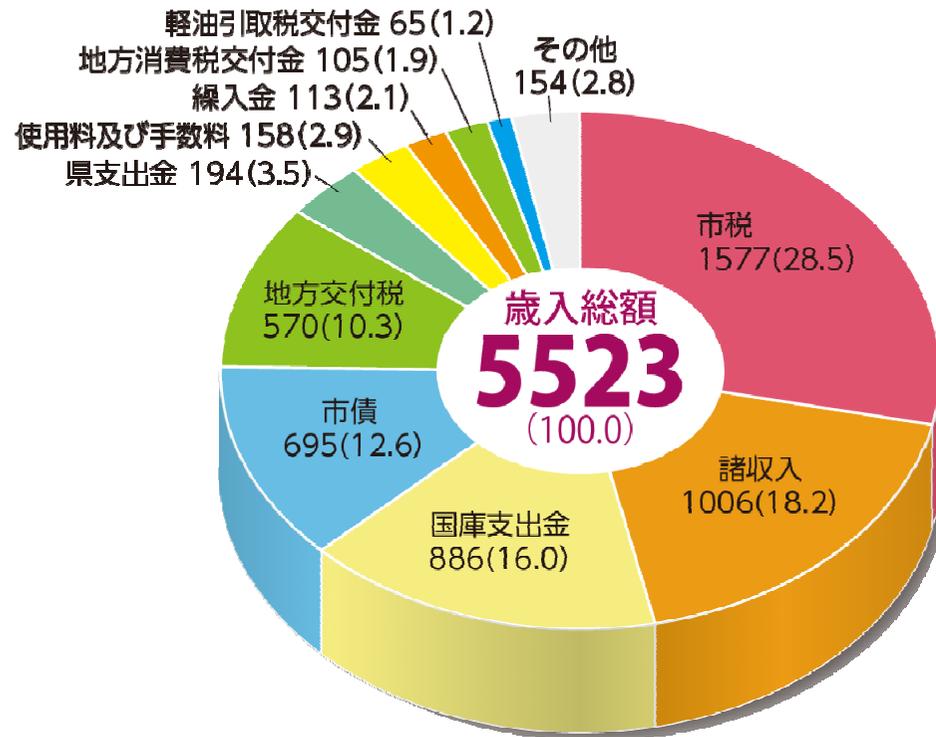
合流改善事業費や企業債償還金が減少すること等によるもの。

一般会計の予算規模の推移

平成24年度の予算額は、5,523億円
(対前年度比0.9%増)で4年連続の増



平成24年度 一般会計の歳入の状況

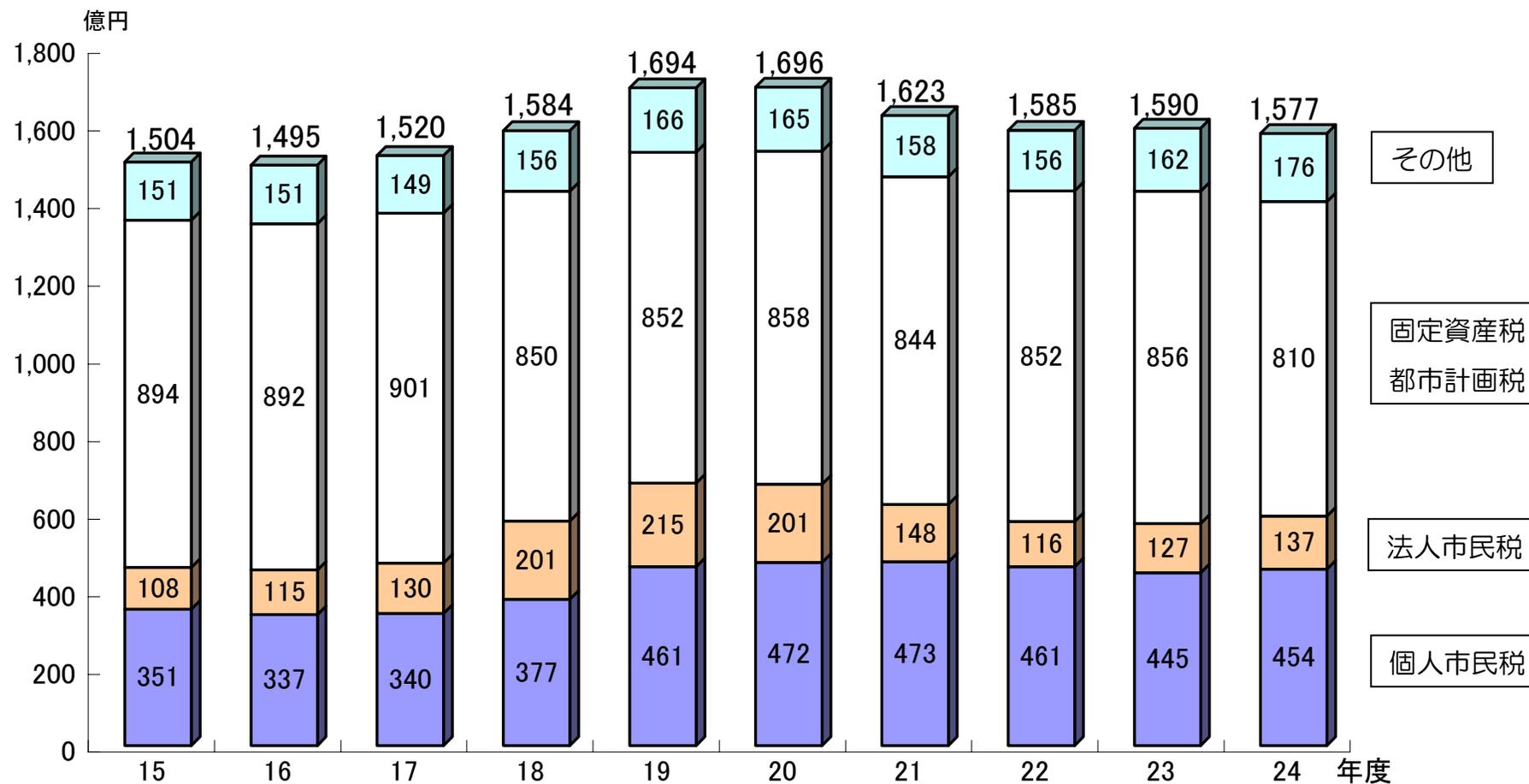


【単位：億円（ ）内は構成比%】

- 市税は、1,577億円
(前年度比13億円の減、▲0.8%)
- 地方交付税は、570億円
(対前年比 ±0)
- 国庫支出金は、886億円
(対前年比66億円の増、+8.0%)
- 市債は、695億円
(対前年比23億円の増、+3.4%)

市税の推移(予算ベース)

平成24年度の市税収入は、個人市民税や法人市民税においては増収が見込まれるものの、固定資産税や都市計画税などにおいて、減収が見込まれることから、前年度に比べ13億円(▲0.8%)の減

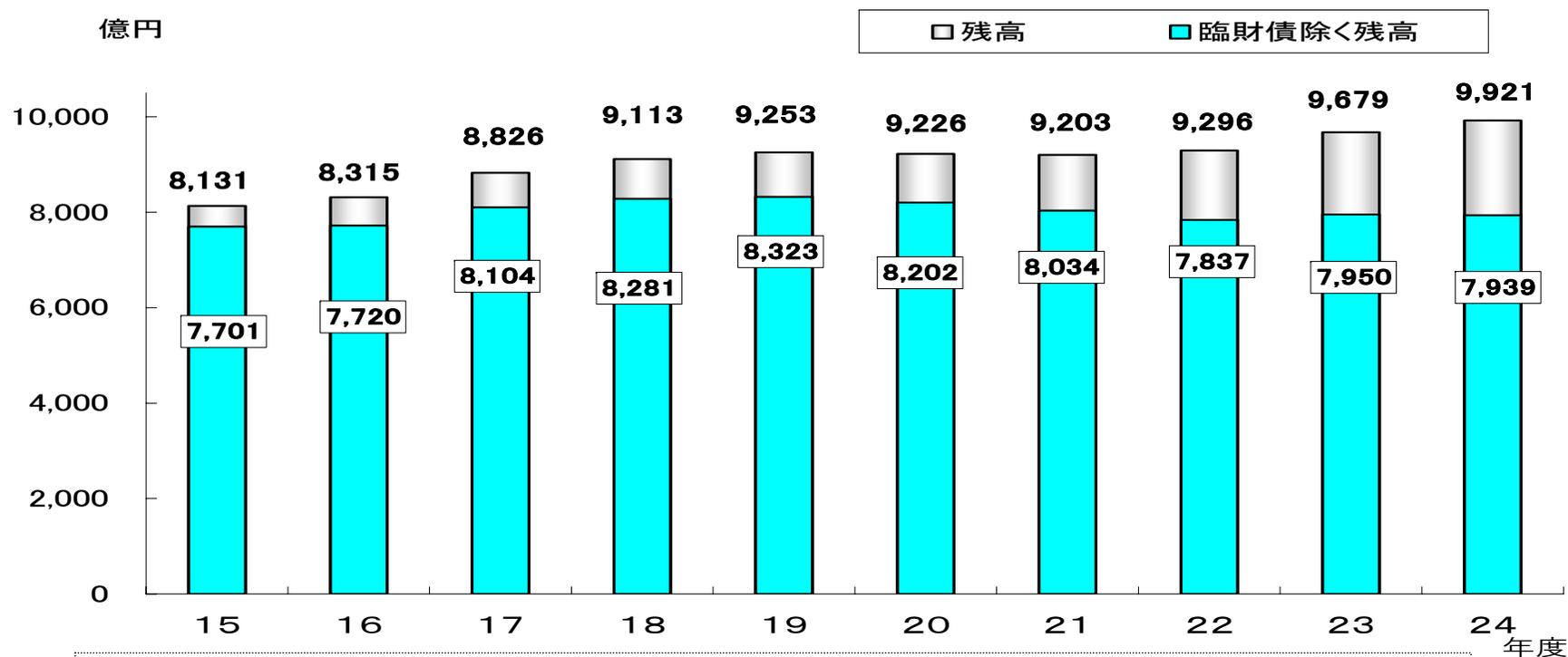


市債残高の推移

平成24年度の市債残高（臨時財政対策債を除く市債残高は、7,939億円
：対23年度末比▲1.1億円の減）

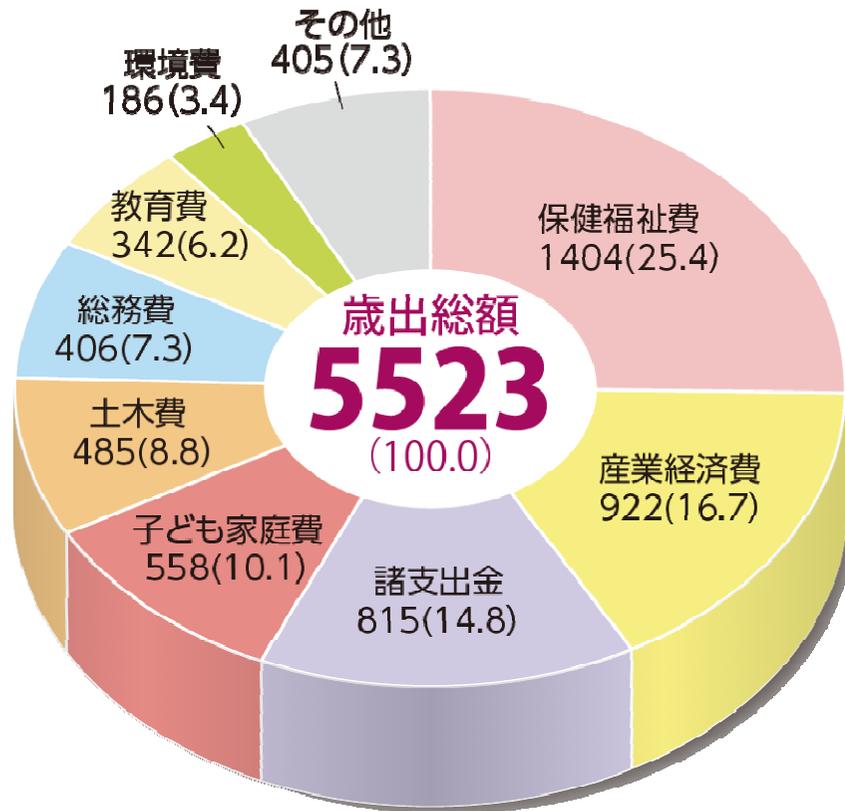
- ◆臨時財政対策債を除く市債残高は、対前年比1.1億円の減
- ◆臨時財政対策債を含めた市債残高は、対前年度比2.42億円の増

一般会計市債残高の推移



22年度までは決算、23年度は2月補正後、24年度は当初予算における年度末残高見込み。
(17年度残高から、大学特別会計引継額を含む。)

平成24年度 一般会計の歳出の状況（1）



【単位：億円（ ）内は構成比%】

目的別

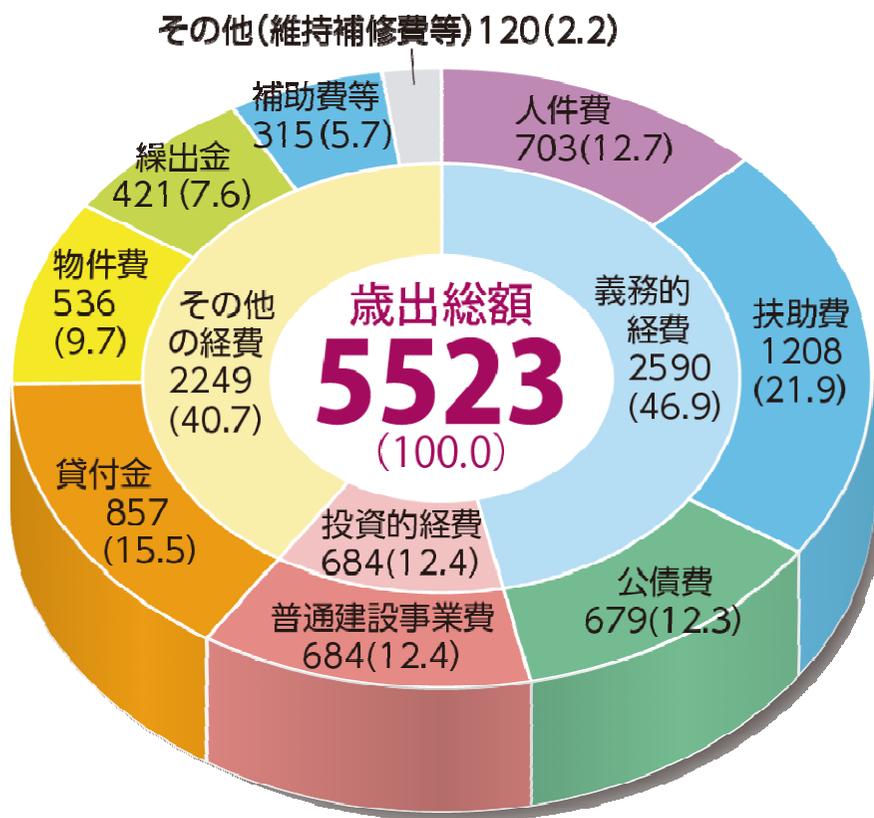
● 総務費 + 26億円
 (24：406億円←23：380億円)

黒崎副都心「文化・交流拠点地区」整備事業
 (ホール) (+21億円)
 コムシティ改修事業(八幡西区役所) (+8億円)
 市制50周年事業(+3億円) など

● 保健福祉費 + 47億円
 (24：1,404億円←23：1,357億円)

生活保護費の増(+19億円)
 国民健康保険特別会計(+9億円)や後期高齢者
 医療制度(+8億円)への繰出金の増 など

平成24年度 一般会計の歳出の状況（2）



【単位：億円（ ）内は構成比%】

性質別

● 義務的経費 2,590億円

(対前年度比+20億円<+0.8%>)

地方公共団体の歳出のうち、その支出が義務付けられ任意に節減できない経費

◆人件費 703億円
(対前年度比 ▲17億円<▲2.4%>)

◆扶助費 1,208億円
(対前年度比 +37億円<+3.1%>)

◆公債費 679億円
(対前年度比 +0.4億円<+0.1%>)

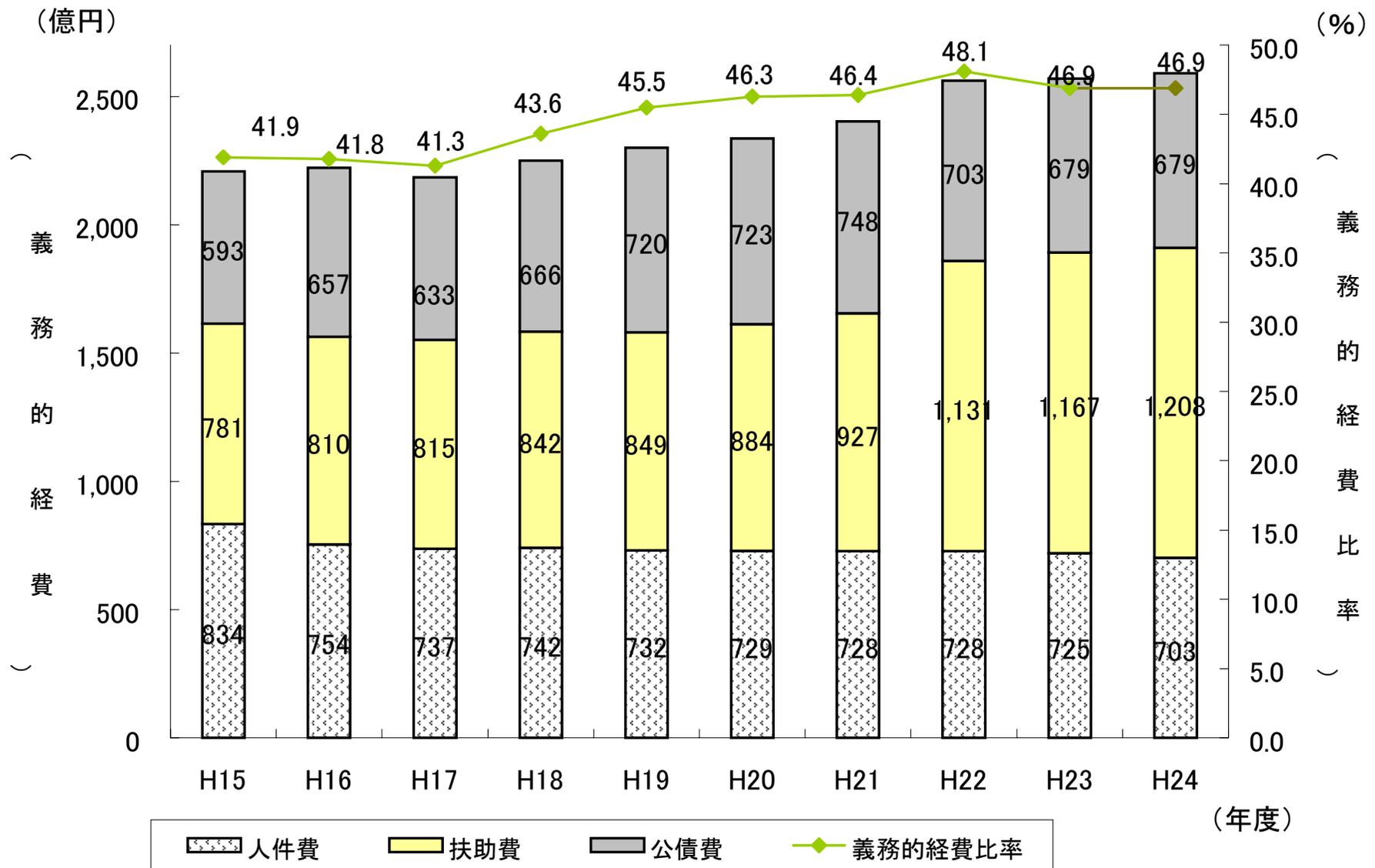
● 投資的経費 684億円

(対前年度比+24億円<+3.7%>)

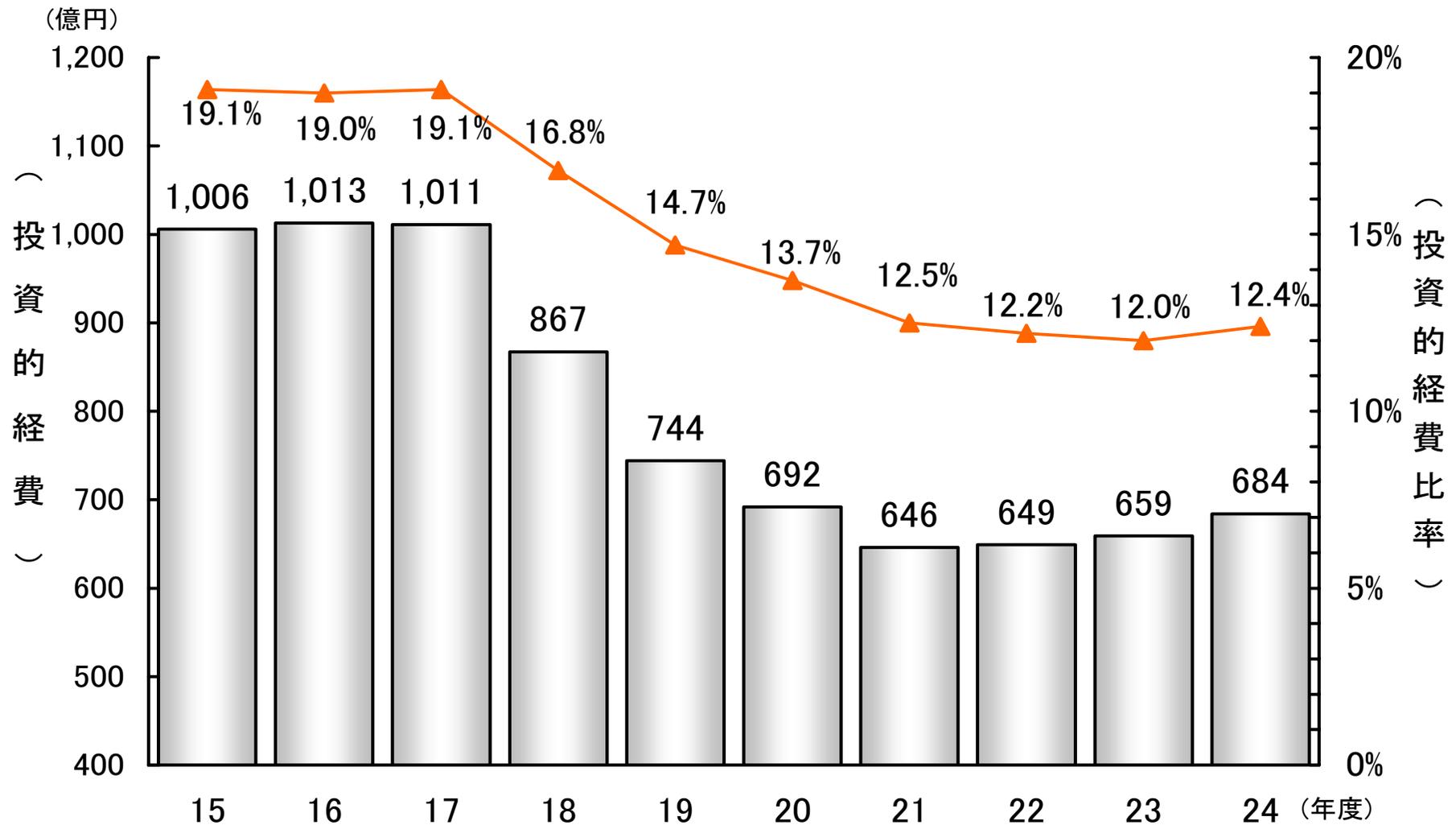
◆補助事業費 424億円
(対前年度比 +65億円<+18.2%>)

◆単独事業費 260億円
(対前年度比 ▲41億円<▲13.6%>)

義務的経費の推移(予算ベース)



投資的経費の推移(予算ベース)



健全化判断比率等の状況

(単位:%)

指 標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合	標準財政規模に対する将来市が支払う借入金返済額などの割合
H20決算	—	—	8.0	171.8
H21決算	—	—	9.9	173.5
H22決算	—	—	11.7 <small>政令市19市中7位</small>	166.0 <small>政令市19市中11位</small>

本市は赤字ではないため、
比率なし

【標準財政規模】 地方公共団体が標準的に収入する市税や普通交付税などの一般財源(用途を定められていない財源)の大きさを示すもの。

早期健全化基準 ※1	11.25	16.25	25.0	400.0
財政再生基準 ※2	20.00	35.00 ※3	35.0	

※1 早期健全化基準:自主的な改善努力による財政健全化が必要となる基準

※2 財政再生基準:国等の関与による確実な再生が必要となる基準

※3 連結実質赤字比率の財政再生基準は経過措置による率(本則は30%)

経済の活性化について

北九州市

1. グリーンアジア国際戦略総合特区

国の新成長戦略における戦略分野

グリーン・イノベーション

アジア経済戦略

本地域の強み(地域資源)

- 環境トップランナーとしての技術・ノウハウ・ブランド
- 緊密なアジアとのネットワーク

本地域の本気度

- 環境で成長を目指す積極的リーダーシップの下、産学官民が結束(福岡県、北九州市、福岡市による共同事務局の設置)

3首長による申請
記者発表(H23年9月)



グリーンアジア国際戦略総合特区

目標

アジアの活力を取り込み、アジアから世界に向けて展開し、アジアと共に成長することを目指す

2020年までに約5兆円の追加売上高(国の目標『50兆円超』の約1割)

パッケージを中心とした
環境ビジネスの海外展開

グリーンイノベーションを
主導する産業拠点形成

資源リサイクル等の次世
代拠点の形成と展開

アジアとのシームレスなビ
ジネス環境の実現

2. 環境未来都市

「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」の実現を目指します。

地域や都市(まち)の中で人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち
～公害を乗り越えた経験と持続的に創造するイノベーションを活かして～

全国に先駆けて、市民・企業の皆様と一緒に未来に向けた都市づくりを行います。

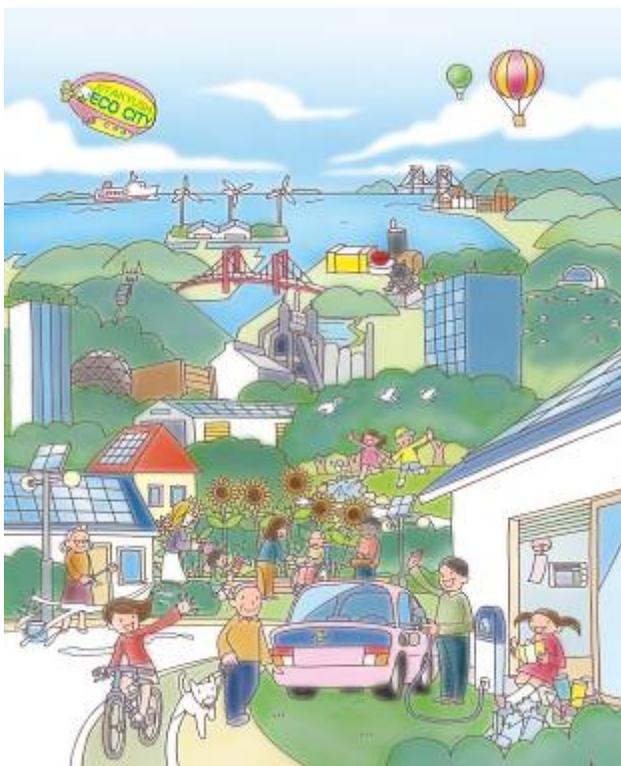
●市民生活では

地域で環境に取り組みます。
(省エネ、環境保全、など)

一人暮らしの高齢者など
地域で見守り、支え合います。

身近な地域において
自ら健康づくりに取り組みます。

スクールヘルパーなど地域の
子どもたちを地域で育みます。



●企業活動では

環境・社会・経済のあらゆる分野での
イノベーションに取り組みます。

積極的にアジアなど海外へ
ビジネス展開します。



3. OECDによる「グリーン成長モデル都市」の指定



OECD東京センターの中谷好江所長(左)と握手を交わす北橋健治市長

- グリーン成長に関する世界のモデル都市の政策や成果を検証し、報告書としてまとめ。
- 全OECD 加盟国に情報発信することにより、世界のグリーン成長を促進。

4. 北九州スマートコミュニティ事業

○地域でエネルギーを創り出し、賢く使いこなす街を実現

地域：八幡東区東田地区
実施期間：
5年間（平成22～26年度）
事業規模：
38事業、163億円（見込み）

スマートオフィス



スマートファクトリー



-  太陽光発電
-  小型風力発電
-  EV、pHV用充電器
-  重点緑化地域

タウンメガソーラー



1,000kWの太陽光発電
北九州水素タウン



総合エネルギーステーション



地域節電所



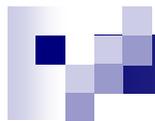
レンタサイクルステーション



平成24年度予算特別委員会

第1分科会審議報告

報告者：濱野信明議員・大石正信議員



自治会・町内会活性化事業について



現在の取り組み内容と成果

- 自治会との連携による加入者増加の取り組みや、リーダー人材育成のための予算の成果は？

予算強化の必要性

- 自治会役員の高齢化、加入率低下などの問題がある。さらなる予算強化の必要性があるのでは？

今後の対策

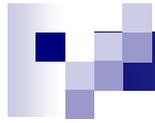
- 加入するメリット、加入しないデメリットを明確にすべきでは？
- 加入してよかったと言える対策を考えるべきではないか？



当局から

**平成23年度から予算を510万円に拡充している。
自治会加入を促進する予算の増額については、
平成25年度予算に反映させたい。**

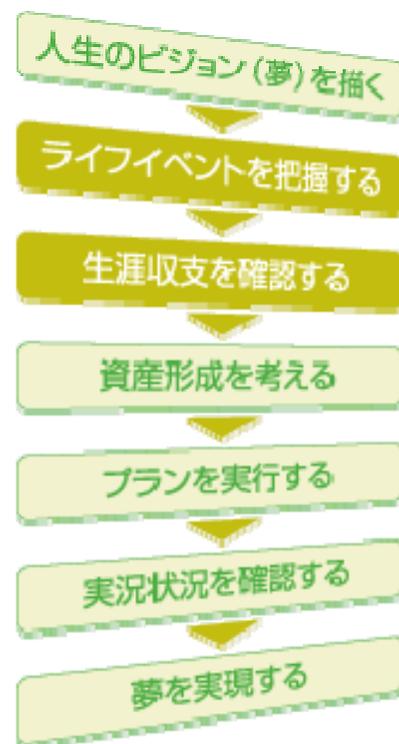
**防犯灯の経費については、住民主体による自主的
な防犯活動推進の観点から、引き続き地域にも一
定のご負担をお願いしたい。**



市民窓口で従事する職員の スキルアップについて

窓口職員の実践的スキルアップを！

ファイナンシャル・プランナーは、顧客である個人から、収支・負債・家族構成・資産状況などのソース提供を受け、それを基に住居・教育・老後など将来のライフプランニングに即した資金計画やアドバイスを行う職業・職種、およびその職に就く者。

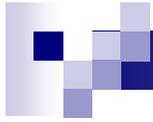


この部分を
GSパートナーデスクが
お手伝いします

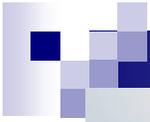


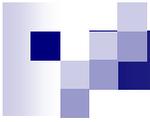


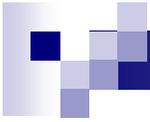
ワンストップサービスを実施した市民課の窓口

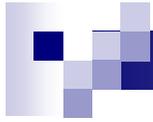


公営住宅の空き室の活用について

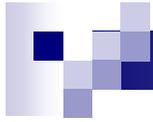




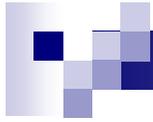




原子力発電所について



玄海原子力発電所



原子炉の模型

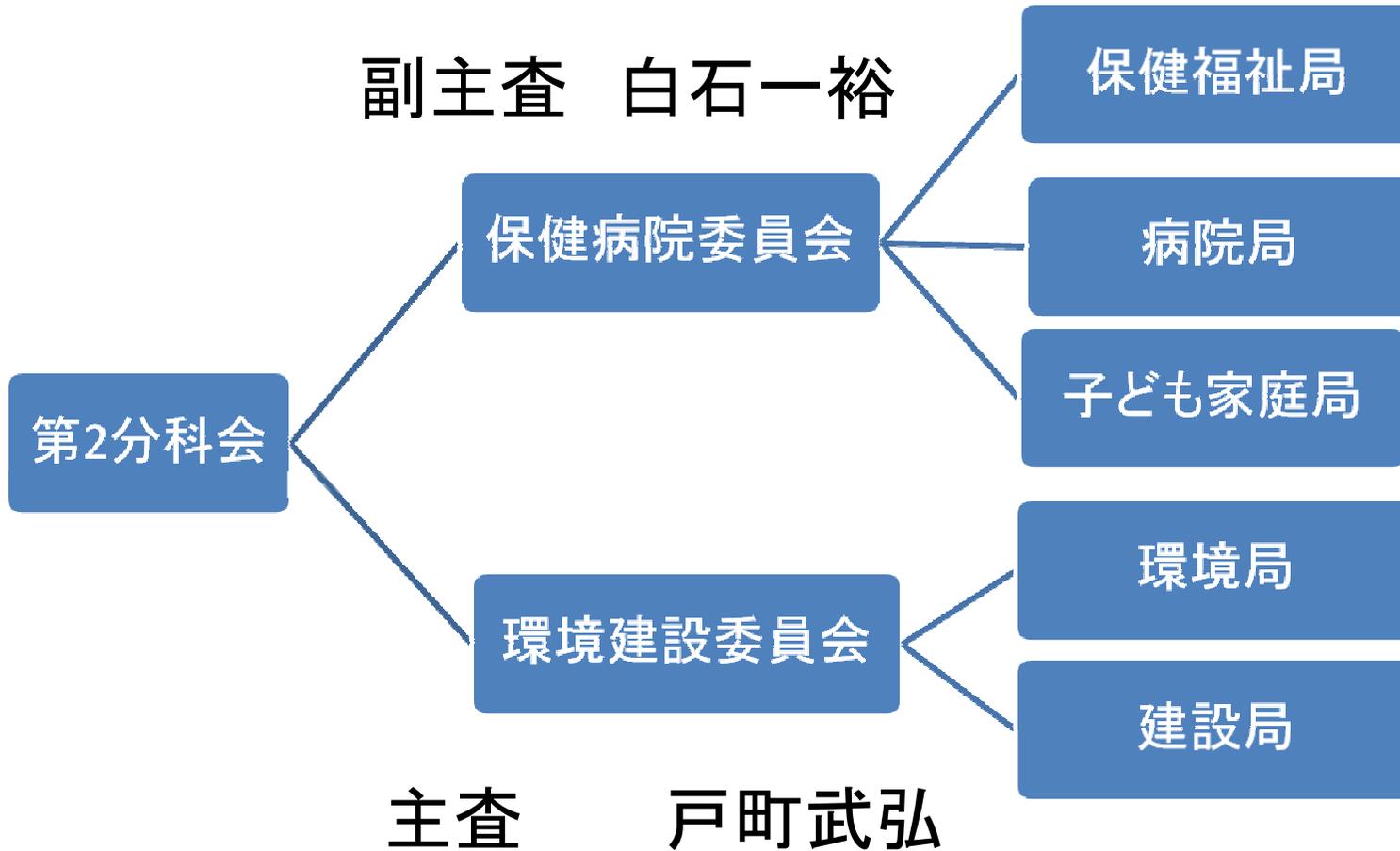


コントロール指令室

平成24年度予算特別委員会

第2分科会審議報告

報告者：戸町武弘議員・白石一裕議員



環境建設委員会 所管分

環境費

●震災がれきの受け入れ関連

震災がれきの受け入れ表明

震災がれきの受け入れのための本市の独自基準

通常の焼却処理のモニタリング

震災がれきの意見聴収のためのパブリックコメントの活用

●PCB廃棄物処理施設の自然災害への対策

特別会計

議案第17号 廃棄物発電特別会計

●皇后崎工場基幹的整備改良事業

議案第28号 下水道事業会計

●下水道管の耐震化

震災がれき受け入れ関連

経緯

3月12日の議会本会議において全会一致で、
議案1号「東日本大震災で発生したがれきの受け入れに関する」
決議が採択される

市長・執行部の考え方

- ①市議会の決議を真摯に受け止める
- ②早急かつ現実的に考え、行動する必要があることを強く感じている
(健康被害、風評被害などのリスクを小さくしつつ)
- ③専門家を交えて精緻な議論を進めたい
(廃棄物の種類、搬入時の線量の目安、運搬方法、焼却
最終処分の方法、放射線量の測定方法、健康面や農産物、
地元生産品への影響、市民への丁寧な広報、試験焼却方法
モニタリング等)
- ④受け入れの可否については、検討結果を市民に示してから判断する

- ⑤本市独自基準は、受け入れの検討段階で考えていく
- ⑥モニタリングについては、焼却灰や排ガスなどについて調査・分析を行う
- ⑦今後、検討経過や結果を市民に丁寧に説明し、意見交換をしたい

意見・要望

- ①風評被害対策の充実
- ②市民への正しい情報を正確に伝える
- ③決議を契機として受け入れを検討し、早急に実施
- ④九州全体のリーダーシップの発揮
- ⑤放射性物質の監視と分析の充実
- ⑥できるだけ低レベルがれきの受け入れ
- ⑦住民の合意と安全の確保
- ⑧近隣自治体への説明を考慮
- ⑨受け入れ先の放射線量のモニタリング
- ⑩飛灰に対する安全対策
- ⑪子どものリスクを考慮したルール作り
等



PCB廃棄物処理施設の 自然災害への対策

市長・執行部の考え方

- ①建屋の地震対策については、
防災計画上の想定より上の震度6強に耐えられる構造になっている
- ②津波対策については、
地盤4mの土地に建っているので津波が施設内に進入することはない
(福岡県シュミレーション1.74m+満潮位=3.34m)

意見・要望

PCB廃棄物の処理が期限内に終了するよう国へ強く働き掛ける

廃棄物発電特別会計(議案第17号)

皇后崎工場基幹的設備改良事業の内容

(予算:461,633千円、債務負担:4,350,000千円)

焼却工場は20年の寿命と言われている。

15年経った今、大規模改修を行うことにより、寿命を30年に延ばすこと
省エネルギー化、発電効率向上を図り、CO₂の削減を行う

下水道事業会計(議案第28号)

(予算:49,847,680千円)

下水道の耐震化について

(予算:1,050,000千円)

地震でも機能を確保しなければならないもののうち

老朽化の進んでいるものから耐震化していく

現在107kmのうち約50%終了

H24年度は8kmの予定

保健病院委員会所管分

主な審議内容

【保健福祉費】

- ①総合療育センター西部分所の計画
- ②地域医療体制の整備について
- ③民生委員活動支援について

【子ども家庭費】

- ④幼保一体化の方向性について

【病院事業】

- ⑤市立病院群関連



保健福祉費

①総合療育センター西部分所の計画 (質疑の背景)

発達障害児の増加 ⇒ 西部地域における施設整備要望

※東部地区には「総合療育センター」が整備済

(執行部意見)

○総合的なあり方検討会報告

西部地区にも相談・通所等の機能が必要

○総合療育センター再整備計画の中で、西部分所について検討する。



保健福祉費

②地域医療体制の整備について (質疑の背景)

市民の命と健康を守る ⇒ 医療ニーズの高まり
⇒ 拠点施設の老朽化

(執行部意見)

- 本市の医療提供体制は全国的にも充実
- 公民の役割分担の視点が重要
⇒民間で維持が難しい分野に予算、人的資源を投入





保健福祉費

③民生委員活動支援について (質疑の背景)

高齢化の進展、単身世帯の増加、福祉ニーズの多様化

⇒ 民生委員の負担増大

(執行部意見)

- 関係者による研究会を開催⇒負担軽減策検討
- 平成24年度から30名の増員に取り組む
- 若い世代への働きかけなど支援を充実していく

子ども家庭費

④ 幼保一体化の方向性について

(質疑の背景)

国における「子育て支援法案」の動き ⇒ 「待機児童の解消」

幼稚園、保育所を一体化した「総合こども園」の創設

(執行部意見)

○ 総合こども園の創設

- ・ 利用者が直接施設と契約
 - ・ 利用料金に差が生じる(利用時間の違い)
 - ・ 民間企業の参入も可能
 - ・ 3歳児未満の受入れは任意
- ※ 制度の効果等について、不透明な部分が多い



病院事業

⑤市立病院群について (質疑の背景)

全国的な医師不足、診療報酬のマイナス改定
⇒ 厳しい経営環境 ⇒ 今後の経営見通し

(執行部意見)

- 市立病院の特色を生かした取組み、機能強化
 - 市長自ら、大学医局に医師派遣を要請
 - 給与、勤務環境面の処遇改善
- ⇒ 平成24年度予算は2年連続の黒字
不良債務が5年ぶりに解消の見込み



平成24年度予算特別委員会

第3分科会審議報告

報告者：成重正文議員・上野照弘議員

経済港湾委員会 所管分

総務費

- 北九州空港新規路線就航促進事業
- スターフライヤーの釜山便就航とチェジュ航空の仁川便の運休

港湾費

- ひびきコンテナターミナルにおけるコンテナ取扱量の現状と見通し
- 港湾計画改訂に対する環境省の意見への対応

産業経済費

- 北九州市新成長戦略の策定
- 北九州市産業雇用戦略の見直し
- 北九州市観光振興プラン
- 洞海湾クルーズマップの作成

労働費

- 若年者就業支援

農林水産業費

- 有害鳥獣対策の効果と課題

教育水道委員会 所管分

教育費

- 東部地域における特別支援学校の整備
- 35人以下学級における必要な教員の確保
- 学校給食調理士の新規採用
- (仮称)こころのふるさと北九州に贈ることばメッセージコンテスト
- 門司図書館の現状と今後

議案審査

議案第6号 国民宿舎特別会計予算

○国民宿舎めかり山荘の解体による門司港レトロ観光への影響と集客等

議案第7号 競輪、競艇特別会計予算

○ハイビジョンシアター門司の整備事業等

議案第10号 港湾整備特別会計予算

○太刀浦地区のクレーン更新事業等

議案第16号 産業用地整備特別会計予算

○産業用地整備特別会計の予算規模等

議案第24号 上水道事業会計予算

○小水力発電の導入等
○水道施設の再構築プラン等

議案第31号 北九州市事務分掌条例等の一部改正

○上下水道局の設置等

総務費について

北九州空港新規路線就航促進事業について

スターフライヤーの釜山便就航とチェジュ航空の仁川便の運休等について



港湾費について

ひびきコンテナターミナルにおけるコンテナの取扱量の現状と見通し



教育費について

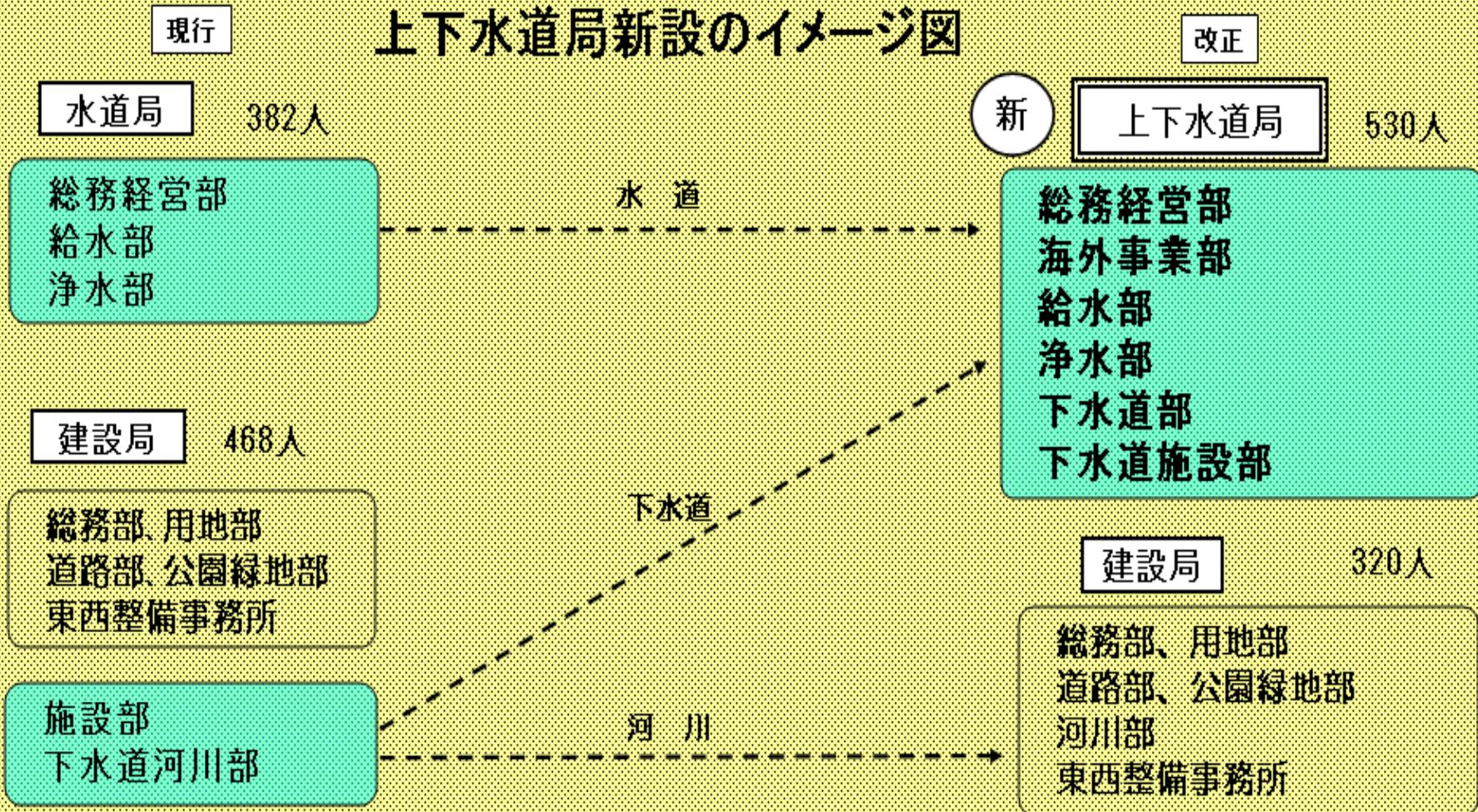
東部地域における特別支援学校の整備について



福岡県立 旧門司商業高等学校

議案第31号

上下水道局の設置について



議会報告会

質疑応答

皆様、本日はありがとうございました。

**アンケートご記入への
協力をお願いいたします。**

北九州市議会